港労研通信

第42号 2026年10月31日

全国港湾労働組合連合会（全国港湾）
港湾労働政策研究所（港労研）
〒144-0052　東京都大田区蒲田5-10-2
日港福会館1階
TEL 03-3733-2561　FAX 03-3733-2627
http://zenkokuku-kowan.jp/

全国港湾活動日誌　＜10/1 ～ 10/31＞

10/1　全国港湾新橋駅宣伝行動（雨天中止）

10/2　全国港湾中央行動実行委員会

＜討議事項＞1. 表題 港湾の『自動化・機械化』あらゆる『体制的合理化』に断固反対！港湾ユーザーは巨大な利益を港湾に還元せよ！憲法と民主主義の擁護・港湾を兵站基地にするな！ 2, 行動日時・内容 ①11月11日（水）13時～17時（国交省・厚労省）②11月12日（木）8時～10時（決起集会/衆議院会館または半蔵門）、14時（経産省・エネ庁申し入れ）、貿易会・外船協未定 3. 規模 ①11月11日（水）国交省・厚労省交渉（71名）②11月12日（木）集会（101名）4. 当日の時間割　5. 当日担当 6. 準備作業

10/2　ITF-JC（第2回国際委員会）

10/2　中央行動実行委員会

＜討議事項＞ 1. 表題「港湾の『自動化・機械化』あらゆる『体制的合理化』に断固反対！港湾ユーザーは巨大な利益を港湾に還元せよ！憲法と民主主義の擁護・港湾を兵站基地にするな！ 2. 行動日時・内容 ①11月11日（水）13時～17時 ②行政交渉/国交省・厚労省交渉 ③11月12日（木）決起集会（場所未定）3. ユーザー申し入れ ①経産省・エネ庁（11/12）、②貿易会・外船協（日時未定）4. 規模 ①11月11日（水）行政交渉71名 ②11月12日（木）決起集会101名 5. 時間割 ①行政交渉/13時10分～国交省前で意思統一集会、13時30分～国交省交渉、15時10分～厚労省交渉、17時解散 ②決起集会/8時15分～開会、10時閉会、11時～一部メンバーによる新橋宣伝、14時～経産省。エネ庁交渉 6. 準備作業確認

10/2　川崎港湾BBQ

川崎東扇島福利厚生センターで川崎港湾と港湾運送事業者・関係事業者による恒例の秋の大懇親会BBQが開催され、全国港湾から松永委員長代行らとともに複数名が参加。当日は心配された雨も上がり、美味しいお酒・料理を囲みながら、参加者同士が和やかに交流を深めた。日頃から川崎港の物流を支える現場の皆さんとの交流は、港湾で働く仲間同士のつながりを深める貴重な機会となった。

10/6 横須賀新港ふ頭（公共ふ頭）への東九フェリー就航に係る四者協議

1. 組合は旅客フェリー就航以降、自動車の取り扱い台数が激減し、雇用と職域に著しく影響を及ぼしていると主張。。2. 業側からの現状説明では「フェリー就航当初、月間5000台を取り扱い、延べ348名が就労してきたが、直近では、月間800台まで減少し、延べ55名での就労となっている。損失としては月間あたり約300名の雇用喪失となった。今年は4月以降、取り扱いがない状況になっている」と説明し、窮状を訴えた。3. 組合は今後、フェリー会社も4者協議の場に参加するよう強く要請した。同時に当該事業者、横須賀港運協会、日本港運協会の3者で足並みを揃えながら早い段階での検討を求めた。4. 業側はフェリー会社を4者協議の場に就かせるよう要請するとし、3者でのすり合わせをするため、しばらく時間をいただきたいとした。

10/8　単組書記長会議

10/8　港労研事務局会議

＜報告事項＞1. 9月3日日本港湾経済学会への参加報告 2. 9月10日全港湾結成80周年記念式典への参加報告 ＜確認事項＞1. 労働実態アンケート調査後の対応について ①取り組み状況 ②分析結果（年末年始例外荷役への対応、ライフライン貨物への対応、国家施策・デジタル化等への対応）③分析結果の取り扱い 2. 港労研シンポジウムの開催に向けて 3. 港湾経済学会・港湾労働研究会との連携について ①研究会への参加 ②当面の論点 ③研究会の開催頻度 ④現場視察の検討 ⑤研究会の当面の活動 4. その他の諸活動 ①港労研所報6号の発行に向けて ②港労研第5回総会に向けて ③交運共闘全国学習会講師の要請 ④研究所の収益力向上について

10/14 全国港湾第2回中執会議（小倉）

＜ITF東京事務所報告/福間地域担当＞
テーマ「港湾の自動化は誰のための投資なのか
―雇用・安全・地域の未来を労働者が決めるために―
＜報告事項＞1. 大会後の取り組みについて①秋年末闘争の取り組み ②関係先に大会終了挨拶・役員体制・決議文・大会宣言を送付 ③26年度執行体制について 2. 「港湾ロジステック」に関する説明・報告（9月24日）3. 労使政策委員会（26年度年末年始例外荷役への対応）について（9月30日）4. 労使政策委員会（年末年始例外荷役以外の課題）について（9月30日）①港湾ロジスティックス拠点ターミナル支援政策 ②サーキュラーエコノミーポート施策 ③継続課題（適正料金確保、特定利用港湾、週休二日制の調査）④日興サービス社の賃上げ交渉 ⑤横須賀フェリー四者協議 ⑥放射線量検査への対応 ⑦産別最賃に係る最高裁の審理に係る件 5. 第4回港湾福利拡充に関する専門委員会（9月30日） 6. 横須賀新港ふ頭へのフェリー就航に係る四者協議（10月6日）7. 交運労協国際委員会（ITF-JC）（10月2日）8. 港労研事務局会議（10月8日）

9. 安全に係る行動指針（横浜港）の紹介 10. その他
＜検討事項＞1. 中央行動の準備 ①11月11日/行政交渉、12日/院内集会・新橋宣伝・ユーザー交渉等 ②行政・ユーザー申し入れ書議論 2. 各地区統一行動旬間の取り組み（10月26日～11月4日）3. 当面する26秋年末闘争の課題 ①26年度年末年始例外荷役への対応 ②特定利用港湾に関する取り組み強化（新橋宣伝行動の継続、記者会見、政党申し入れ等）4. その他の労使政策委員会課題 ①適正料金転嫁ガイドラインに関する自主行動計画の開示 ②港湾運送事業に係る行政等に対する取り組み ③労使政策委員会・専門委員会に係る諸課題 ④放射線量検査への対応 ⑤港湾ロジスティックス拠点ターミナル支援政策 5. 地区港湾の定期大会への連帯挨拶 6. 全労済のマイカー共済/上限割引率について 7. その他（11月11日に日港協へ挨拶）8. 当面の日程

10/20 全労連、全国港湾に表敬訪問

全労連の黒澤議長ら4役が全国港湾を表敬訪問した。全国港湾は松永委員長代行ら6名が出迎え、意見交換を行った。冒頭、全労連の黒澤議長は、7月に開催された全労連定期大会で新議長に就任したことを報告。そのうえで、「いま、改憲をめぐる動きが重要な局面を迎えている。賃上げ要求とともに、改憲阻止を掲げた行動が重要になっている」と強調した。また、職場からのボトムアップによる運動の盛り上げに向け、対話と学び合いを通じて仲間を増やし、誰もが声を上げられる職場や社会を労働組合の運動でつくっていく方針を実践していくと述べた。これに対し、全国港湾の松永委員長代行は、災害対応やインフラ整備を名目に、全国各地の港湾が特定利用港湾に指定されている現状を報告。さらに、「本船荷役作業」と称した自衛隊による軍事訓練が各地で行われていることにも触れ、港湾が兵站基地化される危険性について強い懸念を示した。最後に、黒澤議長は「これまで同様、継続的な関係づくりをお願いしたい」と述べ、全国港湾の玉田書記長も「一致する政策課題での協力関係を築いていきたい」と応じた。今回の表敬訪問は、全労連と全国港湾が相互の課題を共有し、連帯と協力関係をさらに深める重要な機会となった。

10/26 中央事前協議会

10/26 労使政策委員会（FAX第29号）
＜討議経過＞1. 26年度年末年始例外荷役の取り扱いについて ①組合側は昨年度と同様の議事確認で確認するとしたうえで割増賃金及び精励金については昨年度を下回ることのないよう要請。②日港協は悪乗りをしないように注意すると返答した。③労使双方で「26年度年末年始例外荷役議事確認」を署名した。2. 継続課題の進捗 ①港湾ロジスティクス拠点ターミナル支援政策 ②サーキュラーエコノミーポートの施策 ③適正料金確保の取り組み/ガイドラインが明示する「自主行動計画」の進捗、内航フィーダー問題に係る行政申し入れ ④産別協定の編纂に係る日港協の検討状況 ⑤産別最賃に係る最高裁の審理に係る件 3. 労使政策委員会の宿題事項 ①横須賀港フェリー就航に伴う四者協議の経緯 ②週休二日制の調査結果を踏まえた専門委員会の開催確認 4. 特定利用港湾 5. 新たな問題提起 ①安全に係る行動指針（横浜港）の紹介と中央でも作成する考え方 ②22春闘で確認された外貿施設及びインランドデポの視察

10/26 第5回港湾福利拡充専門委員会（FAX第30号）
＜討議経過＞1. 10月8日全国専務理事会議報告 2. 意見交換後、日港協は港湾施設の把握と分担金の内訳を資料として提出することと組合も各施設の状況を精査するとして、次回12月14日に専門委員会を開催することを確認した。

10/27 第1回常任中執会議

＜報告事項＞1. 労使政策委員会（26年度年末年始例外荷役への対応）について 2. 労使政策委員会（当面する諸課題への対応）について 3. **第5回港湾福利拡充に関する専門委員会について ①港湾福利厚生協会の施設の現状** ②日港福全国専務理事会報告 ③分担金の納入状況 4. 27春闘アンケートの実施 5. 全国港湾の決算の精査 6. その他 ＜検討事項＞1. 中央行動の準備 2. 当面する26秋年末闘争課題 ①特定利用港湾に関する取り組み強化 ②労使政策委員会の課題 ③別枠協議/放射線量検査への対応、日興サービス分解の賃上げ交渉支援の課題 3. 27春闘方針案・27春闘要求案のフリー討議 4. 地区港湾の定期大会への連帯挨拶について 5. その他 7. 当面の日程について

10/28 26秋闘中央行動・政党申し入れ

全国港湾は、11月11日・12日に実施する「26年秋年末中央行動」の取り組み概要（11日は行政交渉、12日は参議院講堂での院内集会）について、国民民主党、立憲民主党、民主改革の会、日本共産党、社会民主党、沖縄の風の各党を訪問して実施要項を説明し、参加協力を呼びかけた。申し入れでは、港湾労働者の雇用・職域の確保をはじめ、適正な運賃・料金の確保、AIターミナルなどの高度化・デジタル化に伴う労使協議、産業構造の転換に伴う「公正な移行」、港湾ロジスティクスの強化への対応、特定利用港湾の廃止など、港湾政策に関する要望事項を伝えた。とりわけ、政府が進める「港湾ロジスティクスの強化」やターミナルの統合・再編については、港湾労働者の雇用・職域、労働条件に重大な影響を及ぼすことが懸念されることから、組合を無視した一方的な政策導入を認めず、計画段階から組合への十分な情報提供と事前協議を行うよう訴えた。

10/28 陸海空港湾20労組会議

10/30 安定協会制度専門小委員会

関係組合機関誌等 ＜10/1 ～ 10/31＞

◆「全国港湾」第402号　2026年9月15日

発行：全国港湾労働組合連合会

▸第19回定期大会/魅力ある港湾労働の確立を目指す！26年度運動方針確立/中央執行委員長あいさつ、代議員発言(12名)、委員長総括答弁 ▸地方コンテナ港の課題と対応/日本港湾経済学会第64回全国大会 ▸「港湾を兵站基地にするな！」「港湾労働者と戦争を考える」/9月28日常任中執で「特定利用港湾問題」断固反対姿勢を再確認！次回中執で各論審議へ ▸リレー随筆/猪鹿蝶

◆「全倉運」第1556号　2026年9月25日

発行：全日本倉庫運輸労働組合同盟

▸全倉運第81回定期大会を開催/2027年度運動方針などを採択、河本愛樹（三菱倉庫）委員長を選出、全倉運27年度中央執行委員、大会への祝電・メッセージの紹介、玉田書記長来賓あいさつ/「賃上げ・労働条件向上へ」港湾の仲間と共に運動を前進 ▸各地区定期大会開催/関東地連、関西地連、東海地連 ▸2026年秋年末闘争方針と日程

◆「全倉運」第1557号　2026年10月10日

発行：全日本倉庫運輸労働組合同盟

▸2026年秋年末闘争の課題/一時金の指数引上げを、完全週休二日制・労働条件改善を要求、時間外労働の削減と不払い残業の根絶、職場点検運動 ▸全国港湾定期大会/新年度運動方針を採択、26年度中央執行委員選出 ▸2027年度新中央執行委員アンケート(決意・抱負、夏季一時金の使い道、最近ハマっていること) ▸全倉運2026秋闘/戦術と日程について

◆「日通労働」Vol.3018　2026年10月1日

発行：全日通労働組合

▸特集Ⅰ 全国の「特殊な仕事」「珍しい仕事」/自社のバースとガントリークレーンを保有する職場（神奈川エリア支部）▸特集Ⅱ 第26回全国支部書記長・専従者会議/組合員の満足度向上に向けて意見交換 ▸特集Ⅲ 職場ルポNXCLで女性チームリーダーとなった東京警送エリア支部の仲間 ▸特集Ⅳ 第69回青年部部報コンクール/最優秀賞を受賞した愛知県エリア支部と北見エリア支部インタビュー ▸平和現地視察学習（根室）/青年部のブロック議長（東北、中部、九州）・副議長(中国)が根室の平和行動に参加 ▸エンタの森/DVD紹介（黒牢城・人はなぜラブレターを書くのか・箱の中の羊・国宝)、パパッとグルメ、雑学スクランブル、旅の目的地「道の駅&SA」/沖縄県・伊芸SA ▸全国の組合役員紹介/NXENG 専門委員会メンバー紹介/未来を築く、社会を動かす最先端へ ▸Communication Plaza「聴く・見る・読むならコレ」/マンガ「スラムダンク」、音楽「銀河鉄道」▸委員長コラム「冷凍食品をめぐるあれこれ」 ▸主張「スポーツを通じた心身の健康づくりに向け、誰もが楽しめる環境を育み続けよう」▸イチ押しスポット/オホーツク海の流氷と海の幸などを楽しめる北海道紋別市

◆「フェニックス」 第432号　2026年10月1日

発行：航空安全推進連絡会議 日本乗員組合連絡会議
航空労組連絡会

▸2026年末闘争/航空需要は堅調 現場負担は増加・安全と働きやすさを支える、人員や勤務など職場改善を▸冬季スケジュール/現場の声を年末要求に「グラハンも人材育成が課題」▸航空局/令和9年度概算要求の概要 ▸欧米大手航空第2四半期決算/欧州大手3グループの業績に明暗（BA、イベリア航空・エールフランス、KLM・ルフトハンザ）▸FRM（疲労リスク管理）基準/客室乗務員の十分な急息確保を ▸JCA（ジェットスタークルーアソシエーション）3つの裁判闘争が終結/報告集会に40名が参加、休憩・賃金の成果を職場改善へ、これらの取り組みが重要 ▸安全会議だより/航空安全会議、運用改善を要請、伊丹空港・騒音対策と安全運航の両立を ▸ITFニュース/航空乗務員の放射線被ばく、AFAが規制強化を要求 ▸読書のススメ/どこかに行きたくなる秋がやってきた 鉄旅・空旅、ときどき船旅/阿川佐和子他

◆「船員しんぶん」第3129号　2026年9月25日

発行：全日本海員組合本部

▸イラン情勢・ペルシャ湾・ホルムズ海峡/中東方面の現状と対応「ペルシャ湾・紅海南部への就航見合わせを継続」▸第87回定期全国大会日程および主要議題の告示（11月4日～11月6日）▸船に乗って体験・船の役割と乗組員の仕事（村上市立金谷小学校・平林小学校）/新潟県、粟島汽船株式会社・フェリーニューあわしま ▸新造船「はまなす」船内見学会（大阪港・天保山埠頭）/新日本海フェリー株式会社 ▸「渚の駅たてやま」で体験イベント「船」に乗ろう/千葉県館山市 ▸地区大会日程/第87回定期全国大会に向けて地区大会を開催・現場組合員の声を大会に届けよう ▸北海道の離島航路を支える組合員のみなさんを激励/ハートランドフェリー株式会社・サイプリア宗谷 ▸港区立麻布図書館と連携し、船員職業の魅力を伝えるイベントを開催・船員の魅力と海の平和を次世代へつなぐ/海員組合本部会館・図書資料室 ▸外国人技能実習生に料理を教えて交流/全国海友婦人会・気仙沼支部 ▸家族の広場 ▸船のギャラリー ▸船員と家族が創る文化の広場/第51回海上美術展/▸童話・潮の香/満月に海賊船がやって来る ▸カップルで一緒に食べよ/厚揚げ入りふわふわハンバーグ ▸ザ・クロスワード ▸みんなのイラスト

◆「船員しんぶん」第3130号　2026年10月5日

発行：全日本海員組合本部

▸新造船「しまあかり」就航・女川港～江島を約30分

で結ぶ 船名は「明るい未来を照らして」との思いを込めて/シーパル女川汽船 ▸長崎タウンミーティング 海運・船員政策諸課題実現を要望/海事振興連盟 ▸北海道地方政治参与会議 ▸九州政治参与会 ▸目指せ海のスペシャリスト 船員の魅力を伝えるイベントやガイダンス/水産系・海洋敬高等学校（神奈川県立海洋科学高校、鹿児島県立鹿児島水産高校、宮崎県立宮崎海洋高校、長崎県立長崎鶴洋高校）▸全国各地でボウリング大会/道北支部、道南支部、八戸支部、東北地方支部、関西地方支部、高松支部

◆「船員しんぶん」第3131号　2026年10月15日

発行：全日本海員組合本部

▸宮島（厳島）体験「瀬戸内ブルー」に乗船 廿日市市立佐方小学校の5年生104人が体験乗船/瀬戸内シーライン株式会社 ▸四日市港社会見学体験乗船/伊勢湾フェリー株式会社 ▸新造船「第五十七大吉丸」塩釜港でお披露目/株式会社丸要漁業部 ▸外国人漁業技能実習生に労働関係法令講習を実施/山口県下関市、宮崎県日向市 ▸各地でボウリング・ソフトボール・ゴルフ/道南、関東、関西、九州関門、沖縄 ▸日本の海洋画展 宮城県石巻市で初開催

◆「海員」2026年10月1日　10月号 通巻927号

発行：全日本海員組合本部

▸国土交通省海事局と神戸運輸管理部の幹部が戦没した船と海員の資料館を見学 ▸令和8年度海上殉難者慰霊祭式典・読経と灯篭流しで758柱の冥福を祈る/神奈川県三浦市 ▸令和8年度愛媛地区海運・水産懇談会を開催 ▸本船の若い人 ▸2026年10月組合本部活動だより/総合政策部・水産部 ▸組合活動レポート・広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」体験乗船会を開催/外交部 ▸特集「活動方針を読む」定期全国大会に向けて/全日本海員組合組合長 松浦満晴、「活動の基調」について/政策局長 立川博行、「国際・外航部門」の活動について/国際局長 池谷義之、「水産部門」の活動について/水産局長 髙橋健二、「国内部門」の活動について/国内局長 平岡英彦、「総予算および設備計画」について/総務局長 齋藤洋 ▸組合活動レポート・愛媛県八幡浜港で体験乗船「一日海員学校」を開催 ▸本船自慢の司厨長/大窯汽船株式会社「大輝丸」▸絵子の休日「第5回」26ミス日本「海の日」野口絵子さん ▸海員文芸サロン ▸家族のひろば ▸ふぉつと川柳俳句はじめました ▸海技資格取得研修補助事業（六級海技士、海技資格取得研修補助事業、技能資格取得補助事業、無線従事者取得のご案内 ▸日本船員厚生協会の宿泊施設 ▸船の仕事がたのしくわかる！全日本海員組合図書資料室・展示室

◆「月刊全労連」2026年10月号 №356

発行：全国労働組合総連合

▸特集 ケア労働者の組織化をすすめる＜特別寄稿＞憲法に反対する署名運動の成功に向けて/小森陽一 ＜ルポ＞看護職員の働き方のリアル/小林美希 ＜論文＞変化する保育労働市場と新しい保育労働運動の課題―保育政策とジェンダーの視点から/蓑輪明子、日本医労連の組織強化・拡大の現状について/油石博敬、保育・介護労働者の現状と労働組合への組織化の課題/仲野智、賃金闘争と組織拡大の成果を振り返る/福地健司、ケア労働者の大幅賃上げアクション―ケア労働者の労働相談ホットラインと26国民春闘―/黒澤幸一 ▸国際のページ 原水爆禁止世界大会を通じて見えてきた国際連帯活動の重要性/布施恵輔 ▸職場ホットライン 大阪大学非常勤講師雇止め裁判について/新屋敷健 ▸労働相談の窓 「ケア労働者ための労働相談」に取り組んで/上野力 ▸ただいま奮闘中 知らない・分からないが前提職場・産業の状況交流し、次の運動につなげる/佐藤大地 ▸同じ空の下 被災地本位の復旧・復興へ労働組合としての役割を果たそう/久後健治 ▸文化ページ 書籍「アメリカの戦争」と世界危機/布施恵輔 ▸囲碁・詰将棋 ▸編集後記

◆「学習の友」　2026 10月号　№878

発行：労働者教育協会

▸＜特集＞ 職場と地域をつなぐ―暮らしを守り、社会を変える 災害列島日本の現実と新自由主義/中山徹、労働組合運動を地域に開く―コミュニティ・ユニオニズムの歴史・論理・担い手/栗原耕平、ローカル線廃止に抗して―地域を守る鉄道労働と、住民との対話・共同/佐々木隆一、医療縮小の秋田県鹿角、住民が解決策を提案―住民と医療労働者が心と力を合わせて/鈴木土身、住まいの問題を掘り起こし、都市を変える―ブルックリンの反ジェントリフィケーション運動/森千香子、マムダニ市政と社会を動かす組織された力―ニューヨークの労働運動から考える政治と組織化/齋藤道明 ▸「誰かの書いた方針」から「あなたと私の方針」へ―組合運動に＜対話と討論＞の文化を/高井一聴 ▸高市内閣の「骨太の方針」と成長戦略の国民的リスク/岡﨑祐司 ▸気候危機による災害多発を考える/稲生勝 ▸労働者のための住宅住宅問題入門⑤＜隔月連載＞現代日本の住宅政策/佐藤和宏 ▸連載 つながりづくりたんけん隊～関係構築の基本 ②ムダ話には意味がある～雑談の役割/長久啓太 ▸＜連載＞労働基準法を考える⑧労働基準監督行政を考える/伊藤圭一 ▸学びあいのチカラに「学習の友」を「私たちも活用しています」/小見山正博 ▸かがやいています・全司法青年協議会議長秋山雄飛さん/村上昇平 ▸あったかほっこりの労働運動＜第177回＞お花畑ええじゃないか/原富悟 ▸自然と人間の共生＜109＞真剣に気候変動対策を考えるべきとき/杉井静子 ▸連載ジェンダー問題を考える＜第30回＞地域社会のジェンダー―行政の婚活支援事業は是か非か/青龍美和子 ▸労働運動情報 最低賃金改定の早

期発効と大幅上積みをもとめて/佃憲一 ▸グローバルに見る 67 ILO「プラットフォーム労働者保護条約」（上）/筒井晴彦 ▸川柳「砂時計」/笑い茸 ▸まんが おかしい～世界84/HIRO ▸科学的社会主義の基礎理論講座 ▸第4期学びの森 ▸「学習の友」ファンクラブ ▸職場から地域から ▸労働学校・講座情報 ▸クロスワードパズル ▸編集後記

◆「港湾」Vol.104 May 2026 10月号 10月25日
発行：公益社団法人日本港湾協会

▸巻頭言 港とともに歩むまち「海南」/神出政巳 ▸特集 港湾運送が日本を動かす ○港湾運送事業を取り巻く状況 港湾運送事業の現況/堀田史也、日本の港湾運送事業の現状と将来展望/鳥井宏 ▸港湾で働くプロフェッショナル ○港湾で行われる荷役の種類/脇野修平 ○荷役を指揮する「フォアマン」/四塚章弘 ○港湾で働く人々/脇野修平 ▸COLUMN みなとのおしごと どんなしごと？▸課題解決のための取り組み ○国土交通省の取り組み/堀田史也 ○港湾運送分野におけるサイバーセキュリティー対策について/宮澤駿 ○日立埠頭（株）の女性活躍の取り組み/小川達也 ○「東京港で働くお仕事」のPRについて/平井幸治 ○次世代の港湾労働者を育成する港湾技能研修センター/松岡浩之 ○次世代の港湾労働者を育成する施設/脇野修平 ▸みなとオアシスリレー通信[連載第166回：指宿港]みなとオアシスいぶすき ▸緊急報告 令和8年熊本地震における港湾の被害と対応について/郡司滉大 ▸World Watching[連載第317回]アフリカ東部の国際物流拠点 タンザニア・ダルエスサラーム港/尾崎克行 ▸港の現場最前線[連載第163回:中城湾港・平良港・石垣港・ほか離島港湾]沖縄県内各離島から貨物船による分蜜糖の輸送について ▸我が町のみなとを再発見[連載第328回：横浜港] 知られざる港湾遺産2 大さん橋のスクリューパイル ▸ニュースフラッシュ ▸ポート・オブ・ザ・イヤー2026の投票を10月1日より開始しました ▸港湾用語の基礎知識[連載第174回]港湾における漁業補償 ▸協会通信 令和7年度港湾関係研究奨励助成報告会の開催 ▸港湾観測 ▸読者の声 ▸新刊案内[インフラかるちゃー] ▸編集後記 ▸令和8年度[港湾行政セミナー]について

◆「港湾災防」第742号 2026年10月10日
発行：港湾労災防止協会

▸令和8年度安全衛生表彰受賞者の決定/優良賞(安全)6事業場、努力賞（安全）5事業場、功労賞8名、功績賞（イ）23名、功績賞（ロ）7名 ▸兵庫県総支部発「当社の安全衛星活動」－安全は一人ひとりが責任者－/株式会社上組港運事業本部港運部コンテナターミナルPC－18営業部 ▸コラム（新居浜支部からの報告）【四国の地で、四十年】/四国総支部新居浜支部 ▸港湾貨物運送事業労働災害防止規定の変更(10月14日～)変更理由及び変更内容の概要、変更の拝啓及び理由等について ▸令和8年度 無災害記録表彰伝達式の模様/九州総支部、四国総支部、大阪総支部、東京総支部、千葉総支部 ▸令和8年度 安全衛星表彰受賞おめでとうございます ▸本部・総支部・支部の各種行事日程のお知らせ(1)(2) ▸月例死亡災害発生件数の推移・総支部一覧 ▸港湾労災防止協会安全衛生図書・用品カタログ ▸月別死亡災害発生件数の推移（協会会員事業場報告分）▸総支部一覧

◆「"K" LINE NEWS」No.688 2026 Autumn
発行：川崎汽船サステナビリティ・環境経営推進・IR・広報グループ

▸カタール国営エネルギー会社 QatarEnergy向けLNG船"HALWAN"と命名 ▸マレーシア国営石油ガス会社PETRONASグループ向けLNG船2隻が竣工 ▸「浮遊軸型風車（FAWT）」の小型実験機の海上設置が完了 ▸川崎汽船グループの管理船が「ベストクオリティーシップ2025」を受賞 ▸第20回船主安全対策連絡会を福山（広島）にて開催 ▸日本最大級 神戸港PC14-17コンテナターミナルでのオペレーション開始について ▸五十嵐社長、日経CNBC「朝エクスプレス『トップに聞く』に再び生出演 ▸川崎重工のディビジョンレポートに当社社員のインタビューが掲載 ▸報道関係者との夏季懇親会を開催 ▸「カイロ地下鉄4号線鉄道車両輸送見学会」神戸港で開催！ ▸ダイトーコーポレーション、2隻目となる電動タグボートの建造を決定 ▸大井ターミナルにて東京都中学校社会科教育の教員30名による見学を実施 ▸新任機関長挨拶 ▸海の日記念行事2026 ▸公式X始動！ ▸新しい仲間（キャリア）▸ちょっと気になる?!あのチームのお仕事大公開！/Seawing チーム編 ▸トレーナー×トレーニー ランチDEコミュニケーション ▸職場だより "K" LINE Super Summer Party2026開始/京浜地区親睦行事実行委員会 ▸クラブだより Kライン野球部伝説の始まり、Kラインサッカー部 海運リーグ2025結果報告、水泳部 泳ぐ楽しさと広がる仲間の輪 ▸あなたの味方、ホットライン/企業法務リスク・コンプライアンス統括グループ ▸海外だより番外編 南米アンデスだより第21回 ▸海帆さんの夢航海 大海原を行く テーマ「カーボンニュートラルポート」▸Sustainability News Vol.22「サーキュラーエコノミー」「世界海洋デー、世界一斉精巣活動」・国内・国外での取り組み「ESG評価機関からの評価結果」▸元気になるツボ/抜け毛予防 ▸進め！デジタルトランスフォーメーション！Vol.21 ▸クロスワードパズル ▸バトンタッチ/近況報告 ▸読者の意見 ▸編集後記 ▸カラダが喜ぶ旬レシピ/シシャモの南蛮漬けゆずこしょう風味 ▸お知らせ/ハラスメント社内相談窓口についてご存じですか？/STOPハラスメント

◆「にっけん」 2026 Autumn VOL.709
発行：一般社団法人日本貨物検数協会

▸2026年度新任職位別研修（係長・課長補佐・課長・次長）▸入会半年！新入職員の今 ▸特集 マイマイガから船舶の円滑な運航を支える/FSMC 不在証明検査 ▸2026年度海事関係功労者表彰・中堅職員地区研修 ▸社内通信・人事異動 ▸全国労働衛生週間（10月1日～10月7日）・港湾労働衛生強調月間（10月1日～10月31日）/スローガン「ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに みんな生き生き健康職場」▸編集後記

◆「全日検」 2026年10月号 第280号

発行：一般社団法人全日検

▸本部新社屋のご紹介（横浜市中区山下町）▸海の日関東運輸局長表彰・海の日運輸局表彰 ▸人事異動 ▸共済会・互助会理事会開催 ▸中部支社長・名古屋支部庁インタビュー「新時代への挑戦」▸北海道事業所長インタビュー「北海道で築く未来」▸2025年度入社/入社1年の振り返り/横浜支部、名古屋支部、北陸事業所、中国支部、九州支部 ▸スピーチプラザ「港で働いた自分」▸動物園よりも好きなもの ▸資格取得者・通信教育終了者

◆「日本港湾経済学会年報 港湾経済研究」No.64 地方港湾の活性化について考える

発行：日本港湾経済学会

＜研究論文＞▸共通論題 ○日本の地方コンテナ港の役割と港湾政策のあり方/津守貴之 ○日本海側港湾におけるモーダルシフト推進策の策定過程に関する研究―動的相互依存モデルによる分析を中心に―/長田元 ▸自由論題 ○物流プラットフォームのビジネスの構造及び持続性についての一考察/町田一兵、菊池一夫、王柏筍 ○国際P&Iグループにおける Letter of Indemnity（補償状）―標準書式の変遷とその背景要因の分析― ○コロナ禍以降の我が国のクルーズ振興における現状と課題―港湾管理者の視点から/磯田将史 ▸国内における主要民営化空港の運営組織に関する一考察/川島太郎 ＜研究ノート＞明治後期の横浜港築港計画―市原盛宏・三橋信方両横浜市長の港湾計画を通して/権田益美 ＜学会記事＞記事、全国大会のあゆみ、会則・規定、編集後記

◆毎月勤労統計調査月報 －全国調査－

No.929（26年10月6日到着分）

2026年（令和8年）6月分結果の概要

1. 賃金

令和8年6月の現金給与総額は規模5人以上で534,823円、前年同月比4.0%増（規模30人以上では651,179円、前年同月比4.1%増）となった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は299,671円、前年同月比3.4%増（規模30人以上では前年同月比3.7%増）となった。

また、所定内給与は279,511円、前年同月比3.5%増（同3.7%増）で、所定外給与（超過労働給与）は20,160円、3.4%増（同4.4%増）、特別に支払われた給与は235,152円、4.7%増（同4.6%増）となった。

実質賃金（総額）は規模5人以上で前年同月比2.2%増（規模30人以上では前年同月比2.3%増）となった。

2. 労働時間

令和8年6月の総実労働時間は規模5人以上で139.3時間、前年同月比0.2%減（規模30人以上では145.4時間、前年同月比0.2%増）となった。

総実労働時間のうち所定内労働時間は129.6時間、前年同月比0.3%減（規模30人以上では前年同月と同水準）、所定外労働時間は9.7時間、前年同月と同水準（同1.8増）となった。

また、製造業の所定外労働時間は規模5人以上で13.7時間、前年同月比4.5%増（規模30人以上では前年同月比4.8%増）となり、季節調整値でみると前月比2.6増（同前月比2.3%増）となった。

3. 常用雇用

令和8年6月の常用雇用は、規模5人以上で前年同月比0.8%増（規模30人以上では前年同月比0.5%増）、就業形態別にみると、一般労働者は0.7%増（同0.5%増）、パートタイム労働者は1.2%増（同0.5%増）となった。

主な産業についてみると、製造業は規模5人以上で前年同月比0.2%増（規模30人以上では前年同月と同水準）、卸売業、小売業は0.3%増（同0.3%増）、医療、福祉は1.4%増（同0.5%増）となった。

日本港湾経済学会発行 参考文献紹介

◆港湾経済研究

人物編「学会創立60年の歩み」

国際運輸労連（ITF）発行 参考文献紹介

◆港湾自動化は、誰のための投資なのか？ 雇用・安全・地域未来を労働者（組合）が決めるために

発行：国際運輸労連（ITF）調査官 福間 滋

1. 港湾の自動化の歴史と世界の導入状況
2. 正解の経験は「自動化すれば成功」とは語っていない
3. 国の政策動向 －なぜ今、この論点なのか
4. 利益を受け取る人と、負担する人は誰か
5. 国、事業者が言う「生産性が上がる」の中身を確かめる
6. 雇用と安全を守る導入条件－雇用と安全は自動では守られない
7. ITF（国際運輸労連）のAI原則が示す労働者の権利
8. 労働者（組合）の参加と、政策への働きかけ
9. 全国港湾が求めること、今から始めること

全国港湾関係資料　＜ 10/1 ～ 31 ＞

新聞図書関係

① 日本経済新聞（日経）
② しんぶん赤旗（赤旗）
③ 物流ニッポン（物流）
④ 日本海事新聞（海事）
⑤ マリタイムデーリーニュース（MD）

海運・港運・物流関係（資料１）＜10/1～31＞

10/1 年末年始荷役、労使協議は合意持ち越し
組合が割増担保に懸念、近く再協議へ（MD）
10/1 国土交通省・日本港運協会
自動化機械導入ガイドラインを公表（MD）
10/1【解説】作業会社の存続と雇用確保を強く意識
ガイドラインの狙いを読み解く（MD）
10/2 海コンドライバー、高齢化進行
50歳以上 初の7割超え（海事）
10/5 日本通関業連合会が初の全国調査
通関料金、4割超が見直しを実施（MD）
10/5 日港協、会員店社に価格交渉促進を要請
年末年始荷役を巡る組合の懸念に対応（MD）
10/6 通関料金、引上げ進む 大手中心に20～25%
中小までは浸透せず（物流）
10/6 荷役機械導入へ指針 国交省・日港協
協議会設置を規程（物流）
10/6 適正原価・事業許可更新制度
奈良大臣官房審議官 円滑な制度設計必要（物流）
10/6 国際交流協同組合 特定技能人材
ドライバー育成を本格化（物流）
10/8 NX総研・26年貨物輸送見通し
外貿コンテナ、輸出見通し上方修正（MD）
10/9 年末年始例外、決着は10月中旬以降
組合「割増担保なら協議に応じる」（MD）
10/9 倉庫勤務者 5割超が連職・離職意識
人材定着の環境づくり 経営課題に（海事）
10/9 主張「物流庁」創設を提起する（物流）
10/21 見慣れない大型荷役機械に興味津々
川崎港運協会が恒例の港見学会（海事）
10/22 横浜港 全国初、災害時の行動指針を決定
行政・港運労使が共同で（MD）
10/23 自民党港湾議連連盟が総会
森山会長「切れ目ない港湾予算を」（MD）
10/23 国交・経産・農水省
適正原価設定むけ団体ヒアリング（物流）
10/23 主張「標準的運賃収受を諦めるな」（物流）
10/26 港湾自動化「高い生産性は保証されない」
ITF、1TEU当たり費用を精査すべき（MD）
10/27 港運労使 年末年始例外荷役の実施で合意
昨年と同様「1人2日を限度に」（MD）
10/27 物流倉庫分野 特定技能1号試験開始
日本海事協会　出張方式受け付け（海事）

政治・経済・文化等（資料２）＜10/1 ～ 31＞

10/1 6空港・14港湾で日米演習
19日から 今後さらに増加も（赤旗）
10/2 沖縄米軍基地問題HP閲覧不能
古謝新県政、動画など非公開に（赤旗）
10/4 阪神 球団初の連覇
藤川采配 8度目V導く（日経）
10/7 国税調査で読む 日本の現在地
単身世帯4割、社会の中心に（日経）
10/8 高校生デモ、仏全土に拡大
財政難で教育予算逼迫（日経）
10/8 米軍関係刑法犯5000件（1989年～今年5月）
半数は沖縄（赤旗）
10/8 硤合憲三氏 ノーベル化学賞
仏カガン氏と共同受賞（赤旗）
10/9 企業倒産 13年ぶり高水準
人手不足要因が過去最多（日経）
10/10 世界で不正アクセス急増
9月以降 3億人の情報漏洩（日経）
10/10 公共事業 2027年度予算 概算要求の焦点
投資枠で大型開発に巨費（赤旗）
10/17 東京～新大阪「のぞみ」値上げ
指定席700円、来年7月（日経）
10/18 在日米軍基地資産額32兆円
世界で突出 面積・兵力も（赤旗）
10/18 軍拡より教育予算増やせ
イタリア高校生40万人デモ（赤旗）
10/19 フランス全土1750カ所80万人
教育環境改善へ高校生デモ（赤旗）
10/21 増える元気な高齢者 80代の要介護率
10年で3ポイント低下（日経）
10/23 政府、5ヵ年計画策定へ
高市戦略17分野 順序づけ（日経）
10/27 西山、女性初の将棋棋士
権利を行使「強い方と戦いたい」（日経）
10/29「防衛産業」強化の意味
日本が米軍の武器庫に（赤旗）
10/29 比例削減で「政治とカネ」にフタ　（赤旗）
10/31 個人情報漏えい、2.6億人分
国内の不正アクセス、急速増加（赤旗）

～港湾労働政策研究所シンポジウムのご案内～

日　時：2026年12月17日（木）14時～
場　所：日港福会館2階第1・2会議室
テーマ：「規制緩和 港湾運送を考える（仮題）」
シンポでは、港湾運送の規制緩和から25年余を節目として、国土交通省OB、日本港運協会OB、現役組合役員の3名をパネラーに迎え、行政、港湾運送事業、港湾労働、それぞれの立場から意見を交わし広い視点で議論していきます。

海運・港運・物流関係（資料１）　＜2026 年 10 月 1 日～31 日＞

10/1　年末年始荷役、労使協議は合意持ち越し 組合が割増担保に懸念、近く再協議へ（MD）

10/1　国土交通省・日本港運協会 自動化機械導入ガイドラインを公表（MD）

10/1【解説】作業会社の存続と雇用確保を強く意識 ガイドラインの狙いを読み解く（MD）

10/2　海コンドライバー、高齢化進行 50 歳以上 初の 7 割超え（海事）

10/5　日本通関業連合会が初の全国調査　通関料金、4 割超が見直しを実施（MD）

10/5　日港協、会員店社に価格交渉促進を要請 年末年始荷役を巡る組合の懸念に対応（MD）

10/6　通関料金、引上げ進む 大手中心に 20～25% 中小までは浸透せず（物流）

10/6　荷役機械導入へ指針 国交省・日港協 雇用維持・安定に配慮 協議会設置を規程（物流）

10/6　適正原価・事業許可更新制度 奈良大臣官房審議官 円滑な制度設計必要（物流）

10/6　国交省ヒアリング 輸送形態など反映可能に 経団連指摘 柔軟な制度設計重要（物流）

10/6　国際交流協同組合 特定技能人材 ドライバー育成を本格化（物流）

10/8　NX 総研・26 年貨物輸送見通し 外貿コンテナ、輸出見通し上方修正（MD）

10/9　年末年始例外、決着は 10 月中旬以降 組合「割増担保なら協議に応じる」（MD）

10/9　倉庫勤務者 5 割超が連職・離職意識 人材定着の環境づくり 経営課題に（海事）

10/9　公取委が注意喚起文書「買いたたき」範囲広がる（物流）

10/9　主張「物流庁」創設を提起する（物流）

10/21 見慣れない大型荷役機械に興味津々 川崎港運協会が恒例の港見学会

10/22 横浜港 全国初、災害時の行動指針を決定 行政・港運労使が共同で（MD）

10/23 日本港湾協会ら「港づくり全国大会」進藤会長「予算確保へ効果的な運動を」（MD）

10/23 自民党港湾議連連盟が総会　森山会長「切れ目ない港湾予算を」（MD）

10/23 国交・経産・農水省 適正原価設定むけ団体ヒアリング（物流）

10/23 主張「標準的運賃収受を諦めるな」（物流）

10/26 港湾自動化「高い生産性は保証されない」ITF、1TEU 当たり費用を精査すべき（MD）

10/27 港運労使 年末年始例外荷役の実施で合意 昨年と同様「1 人 2 日を限度に」（MD）

10/27 物流倉庫分野 特定技能 1 号試験開始 日本海事協会（NK）出張方式受け付け（海事）

政治・経済・文化関係（資料２）　＜2026 年 10 月 1 日～31 日＞

10/1　6 空港・14 港湾で日米演習　19 日から 今後さらに増加も（赤旗）

10/2　沖縄米軍基地問題 HP 閲覧不能 古謝新県政、動画など非公開に（赤旗）

10/4　阪神 球団初の連覇 藤川采配 8 度目 V 導く（日経）

10/7　国税調査で読む 日本の現在地　単身世帯 4 割、社会の中心に（日経）

10/8　高校生デモ、仏全土に拡大 財政難で教育予算逼迫（日経）

10/8　米軍関係刑法犯 5000 件（1989 年～今年 5 月）半数は沖縄（赤旗）

10/8　硲合憲三氏 ノーベル化学賞 仏カガン氏と共同受賞（赤旗）

10/9　企業倒産 13 年ぶり高水準 人手不足要因が過去最多（日経）

10/10 世界で不正アクセス急増 9 月以降 3 億人の情報漏洩（日経）

10/10 公共事業 2027 年度予算 概算要求の焦点 投資枠で大型開発に巨費（赤旗）

10/17 東京～新大阪「のぞみ」値上げ　指定席 700 円、来年 7 月（日経）

10/18 在日米軍基地資産額 32 兆円 世界で突出 面積・兵力も（赤旗）

10/18 軍拡より教育予算増やせ イタリア高校生 40 万人デモ（赤旗）

10/19 フランス全土 1750 カ所 80 万人 教育環境改善へ高校生デモ（赤旗）

10/21 増える元気な高齢者 80 代の要介護率 10 年で 3 ポイント低下（日経）

10/23 政府、5 ヵ年計画策定へ 高市戦略 17 分野 順序づけ（日経）

10/27 西山、女性初の将棋棋士 権利を行使「強い方と戦いたい」（日経）

10/29「防衛産業」強化の意味 日本が米軍の武器庫に（赤旗）

10/29 比例削減で「政治とカネ」にフタ（赤旗）

10/31 個人情報漏えい、2.6 億人分 国内の不正アクセス、急速増加（赤旗）